

# 第 40 回宇宙理学委員会議事録

日時：平成 25 年 6 月 12 日(水)13:00~20:30

場所：宇宙科学研究所 A 棟 2 階大会議室

出席委員：牧島委員長、上野幹事、海老沢幹事、安東委員、小野委員、金田委員、河合委員、草野委員、國中委員、佐々木委員、塩谷委員、芝井委員、高橋委員、田中委員、中川委員、永原委員、中村（栄）委員、並木委員、野崎委員、原委員、藤井委員、藤本委員、松原委員、満田委員、山岸委員、山田委員、渡邊委員、常田所長、稲谷副所長

欠席委員：大村委員、國枝委員、寺澤委員、中村（正）委員、早川委員、山本（智）委員

TV 会議出席者：なし

陪席者：紀伊恒男、羽生宏人、斎藤義文、福田盛介、山崎敦、高柳昌弘

科学推進部他：須田執行役、石井科学推進部長、早川大学共同利用課長、廣瀬、奈良岡、田中、滝（以上科学推進部）、吉原、東原（以上宇宙科学プログラムオフィス）

## 第 6 期委員自己紹介

委員自己紹介のあと、常田所長から、新執行部体制(満田研究総主幹、稲谷副所長・プログラムディレクタ、石井科学推進部長)が紹介された。

## 第 6 期委員長、幹事の選出

互選により、牧島一夫委員が委員長に選出された。委員長の指名により、海老沢委員、早川委員、上野委員が幹事に指名された。

## 所長挨拶

常田所長から挨拶があった。

## 1 諸報告

### (1) 宇宙理学委員会とは？

海老沢幹事から資料 3-1 に基づいて、宇宙理学委員会の概要が説明された。

### (2) 宇宙科学を取り巻く周辺状況

石井科学推進部長から、資料 3-2-1 に従って報告された。

### (3) 各委員会報告

- ・小型科学衛星専門委員会報告

後の議題「今後の小型科学衛星計画の進め方について」の中で報告された。

- ・宇宙探査委員会報告

資料配布のみ。

### (4) 国際調整報告

資料配付のみ。

### (5) はやぶさ 2 サイエンスチーム報告

資料配付のみ。

### (6) はやぶさサンプル分析国際 AO 第二回選定結果報告

資料配付のみ。

### (7) SMILES 外部評価委員会報告

次回に持ち越し。

## (8) イプシロンロケット報告

資料 3-8 に基づき、宇宙飛行工学研究系の羽生助教より報告された。

## (9) SPRINT-A 報告

太陽系科学研究系の山崎助教から、資料 3-9 に基づいて報告された。

# 2 審議

## (1) 宇宙理学班員登録申請について

三名の登録申請が認められた。

## (2) H25年度戦略的開発研究費審査

満田戦略的開発研究費審査委員長より、資料 4-2 に基づいて報告された。昨年度までの小委員会が、今年度の最初の評価を担当した。最終的な評価結果として配分額を定め、留保分は 1,000 万。提案通り戦略予算の配分が認められた。

## (3) H25年度搭載機器基礎開発実験経費審査

藤本委員長から報告された。提案通り基礎開発実験経費予算配分が認められた。

## (4) 各委員選出

### 1) 戦略的開発研究経費審査委員会

### 2) 搭載機器基礎開発経費審査委員会

それぞれ、前期幹事団から、今期の委員候補が提案された。新委員候補は、満田(委員長)、早川、上野、中村(栄)、山本、渡邊、野崎、理学委員長(オブザーバ)。搭載機器委員候補は、7 名中、3 名の交替。新委員候補は、海老沢(委員長)、藤本、中川、塩谷、原、河合、永原。なるべく ISAS 外の委員が多いほうが良いという意見が出され、一人ずつ外部からの委員を増やすという条件付きで、両委員会の新委員が認められた。

## (5) キュレーション専門委員会について

藤本委員から資料に基づいて発表があった。キュレーション専門委員会を理学委員会の下に作ることが認められた。担当幹事は早川幹事とする。

## (6) あけぼの運用延長審査

海老沢あけぼの運用延長審査委員長から、資料に基づいて報告された。2014 年度から 3 年間の運用延長が認められた。

## (7) ひので運用延長審査

海老沢ひので運用延長審査委員長から説明があった。運用延長を認めるに当たって、いくつかプロジェクトへ課題を出している。プロジェクトの回答を待って、2014 年度から 3 年間のひのでの運用延長を認める。

## (8) 小規模プロジェクト／国際共同ミッション推進研究の進め方について

満田研究総主幹から、資料に基づいて報告があった。基本的に AO を出すことが認められたが、細部を詰めた上で、理学委員会がどのような責任を負うかということをも明らかにして、9 月の委員会のときにきちんと報告して欲しい。

## (9) 国際共同支援経費「飛翔体による宇宙科学観測支援経費」(理学枠)について

共同利用係の奈良岡氏から資料に基づいて説明があった。所が出す国際共同支援経費との性格の違いは何かを明らかにする。それから、随時受け付けが適切かどうか、検討する。それらについて幹事団が協議して、公募案を検討する。それがクリアされた後に AO を出す。

#### (10) JUICE WG について

藤本委員より資料 4-10-1 に基づいて説明があった。WG の切り替えを基本的に認めるが、新しいWG がどうなるかということは今日、聞いた範囲ではまだまだ見えないことが多いし、不安要因も大きい。よって、9月の理学委員会で説明して頂く。

#### (11) WG の整理について

牧島委員長から説明があった。現在、WG がたくさん存在するが、アクティブなものもあればそうでないものもある。WG の整理について、9月までに幹事団で方向性を出して、9月の理学委員会に諮る。

#### (12) 今後の小型科学衛星計画の進め方について

満田 SE 室長と上野 PO 室長から、資料 4-12-1 に基づいて説明があった。今後の小型科学衛星計画の進め方について、討議が行われた。小型科学衛星専門委員会は終了し、今までの専門委員会の努力、アウトプット、成果を引き継ぐ形で、今後は理学委員会が直接ハンドルをする。担当幹事を上野委員とする。

#### (13) 理学委員会の将来構想について

ロードマップの議論を進めるために、理工学委員会が共同で TF を設立することが認められた。理学委員会からのメンバーは、牧島、渡邊、野崎。宇宙研執行部には、オブザーバとして入って頂く。

以上